

小さな親切

長久手市立北中学校

二年 緒方 暁

「前向き駐車にご協力ください。」  
お店の駐車場に入った時、この看板がありました。しかし、半分以上の車が後ろ向きに駐車していました。その周りには、前向き駐車をしなくていい所もあるのに、なぜルールを破るのか、私はとても不思議に思いました。

前向き駐車は法律ではないけれど、大切なルールです。このルールを守らないと、駐車場の横の家に、車の排気ガスがかかったり、臭いにおいが家に届いたりするので、家の人は毎日嫌な思いをしているはずです。私だったら、ルールを守っていない人のせいで自分が我慢するのは嫌だし、ずっとはたえられませんが、せん。

少しくらいルールを破っても誰も気付かないし、一人がルールを破っても何も変わらないと思う人もいると思います。しかし、みんながルールを守らなくなったら、みんなが過

ごしやすくなるためのルールなのに、ルールの無い世の中になってしまいます。ルールが無くなったら、人を思いやる気持ちを持つことが当たり前前ではなくなっていて、過ごしにくい環境になってしまいます。家の人の気持ちを考えて、みんなが少し親切な気持ちを持つと、嫌な思いをする人がいなくなるはずだから、みんなで心がけることが大切だと思います。

車の前向き駐車をしない人が多い理由の一つとして、前向き駐車を呼びかける看板を見ることに目が慣れてしまっていることが考えられます。なので、車の前向き駐車をしていない人、一人一人に注意を呼びかけて、車の前向き駐車をすることが当たり前になるといいなと思います。

時間に余裕がないと自分のことで精一杯になっってしまったいます。私も急いでいるとき、周りの人のことを考えられなくなることがあります。時間に余裕を持って行動すると、周りを気にする余裕も生まれると思いました。

他にも、小さな親切が必要だと思う場面があります。それは、横断歩道で車が止まって

くれるのを待っているときです。

横断歩道では、なかなか車が止まってくれない。片方の車が止まってくれないと、もう片方の車が止まってくれないと、歩行者にも止まってくれている車にも迷惑だと思います。歩行者が待っていることを、車を運転している人に気付いてもらえるようにしたいです。そのためには、車を運転している人が、歩行者がいるか確かめることと、歩行者が車を運転している人から見えやすい位置に立つことの両方が大切だと思います。

車を運転している人が嫌な顔をせず、手で「どうぞ」とゆずってくれたら、その後いい気分です。逆に、歩行者がいることに気付かない車が連続で通ったり、車を運転している人が迷惑そうに私を見てきたりするときは、私までモヤモヤした気分になります。自分の態度が、周りの人にも影響することが分かりました。

私も、イライラしているとき、態度に出してしまったことがあって、周りの人まで嫌な気分になり、巻きこんでしまったことに気づき、申し

訳なく思いました。自分に嫌なことがあっても、周りの人まで嫌な気分にならせてしまったり、気を遣わせてしまったたりしないようにしたいです。

みんなが、少しだけ周りの人の気持ちを考えて過ごすだけで、みんながいい気分です。そして、時間に余裕を持って行動し、周りの人の気持ちを考えられる大人になりたいです。